

よくわかる決算書

令和3年度の決算を振り返ってみよう！

令和3年度 下水道事業会計
岡崎市上下水道局

補填財源と未来の下水道！

～下水道事業の現状と課題～

収益的収支と資本的収支って？

～損益計算書に載らない支出とは～



財務3表丸ごと解説！

決算を解説しました！

目次

1 決算書とは？	1
まずは、財務3表それぞれの役割について解説するよ！	2
2 経営成績はどうだったの？	3
下水道事業の概況を見てみよう！	3
損益計算書の収入を見てみよう！	4
次に、支出の内容を見てみよう！	5
「減価償却費」「長期前受金戻入」を知ろう！	6
損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！	7
「資本的支出」（＝損益計算書には載っていない支出）を見てみよう！ .	8
「資本的収入」（＝損益計算書には載っていない収入）を見てみよう！ .	9
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！	10
まとめ	11
3 補填財源の推移を見てみよう！	12
4 下水道事業が置かれている現状を見てみよう！	13
5 財務3表を読み解こう！	14
【図解】 損益計算書	14
【図解】 貸借対照表	15
【図解】 キャッシュ・フロー計算書	16

1 決算書とは？

岡崎市下水道事業では平成24年度から公営企業会計を導入しています。

公営企業会計では民間企業のように複式簿記を使って記帳を行います。

その記帳の内容を取りまとめたものが「決算書」になります。

決算書は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状況について、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書（財務3表と呼ばれます。）などの決算書類で報告しています。

ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。

そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることを分かりやすくお伝えし、岡崎市の下水道事業がどのような状況なのかを知っていただけるよう決算書の概要版を作成しました。

決算書を見てみたけど、見慣れない言葉が多くてよく分からなかったよ～。



©R.S.H/RUNE

ルネパンダ

岡崎市出身アーティスト「内藤ルネ」デザイン



スイットくん

ぼくが決算書をわかりやすく解説するよ！

まずは、財務3表それぞれの役割について説明するよ！

下水道事業



損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書を合わせて財務3表と呼ぶんだ！
それぞれ役割があって、さまざまな角度から下水道事業の経営状況を把握できるようになっているよ！

経営状況っていうと、やっぱり「儲かったか？」みたいなこと？



©R.S.H/RUNE



「儲かったか？」も大事な情報だね！
他にも、「下水道管などの資産や、返さなきゃいけないお金である負債がどれくらいあるか？」といった情報や、「現金を増やすことができたか？」といった情報も経営状況をみる上で大切なんだ！

「儲かった」と「現金が増えた」は違う情報なの…？



©R.S.H/RUNE



おっ！とっても鋭い質問だね。実はその2つは違う情報なんだ！！
この「よくわかる決算書」で、その違いを詳しく説明していくよ。
みんなが理解できるようにがんばって解説するね！



ここではひとまず財務3表それぞれの役割を抑えよう！！
損益計算書が「儲かったか」、
貸借対照表が「資産、負債、資本の状況」、
キャッシュ・フロー計算書が「現金が増えたか」をあらわす書類なんだ！！
次のページから、「損益計算書」を中心に経営状況を解説していくよ！

※下水道事業における「儲け（利益）」はすべて、施設の更新や借入金の返済に使われます。

2 経営成績はどうだったの？

下水道事業の概況を見てみよう！

1 下水道の接続件数

項目	令和3年度	令和2年度	前年度からの増減
せつぞくごすう 接続戸数 (戸)	143,997	142,810	1,187
しより くいき ないじんごう 処理区域内人口 (人)	343,269	343,771	-502



「接続戸数」は、下水道に接続している戸数のことで、前年度から1,187戸増えたよ！
「処理区域内人口」は、下水道水が利用できる区域の人口のことで、前年度から502人減ってしまったんだ。

2 下水道の処理水量

項目	令和3年度	令和2年度	前年度からの増減
そうおすい しよりずいりょう 総汚水処理水量 (m ³)	36,995,665	37,016,858	-21,193



処理場できれいにした汚水の量を合計したものを「総汚水処理水量」と言うんだ！
おうちで使われる水の量が減ったことで、前年度と比べて21,193m³のマイナスになったよ。

3 令和3年度決算の特徴

3-1 引当金の取崩し

(税抜)

項目	令和3年度	令和2年度	前年度からの増減
ひきあてきんれいにゆうえき 引当金戻入益 (億円)	1.9	0.0	1.9



令和3年度は、使用が見込まれない1億9千万円の「引当金」をすべて取り崩して「引当金戻入益」として計上する特別な会計処理を行ったんだ！このお金は、今後の下水道施設の更新費用などに有効活用していくよ！

3-2 純利益の減少

(税抜)

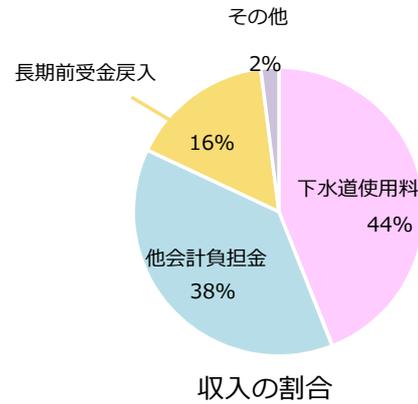
項目	令和3年度	令和2年度	前年度からの増減
じゅんりえき 純利益 (億円)	5.7	6.5	-0.8
げんかしようきゃくひ 減価償却費 (億円)	45.8	45.1	0.7



下水道事業の1年間の儲けを「純利益」と言うんだ！
前年度と比べて8千万円も減っているよ！
減価償却費が増えていることが原因の一つだよ。

損益計算書の、収入を見てみよう！

内容	金額 (円)	割合 (%)
下水道使用料収入	3,852,123,662	44%
他会計負担金	3,381,014,746	38%
長期前受金戻入	1,450,345,065	16%
その他	203,664,309	2%
合計	8,887,147,782	100%



下水道事業は、みんなが支払う
「下水道使用料」で経営しているんだよ！！

あれ!?
でも....収入には、「下水道使用料」のほかに
「他会計負担金」や「長期前受金戻入」ってあるね....これはなに？



©R.S.H/RUNE



よく気が付いたね！
下水道管には、みんなの家からの「汚水」と「雨水」が流れているんだ！！
「汚水」の費用は、使った人が支払うんだけど、
「雨水」のための費用は、市の「税金」で支払うのがルールなんだ！！
「雨水」を流すための施設は下水道事業で管理しているから、
「岡崎市」から「下水道事業」に支払われるんだ。それが「他会計負担金」だよ。

下水道には2種類あって、それぞれ「使っている人からの使用料」と
「みんなからの税金」で運営しているんだね！



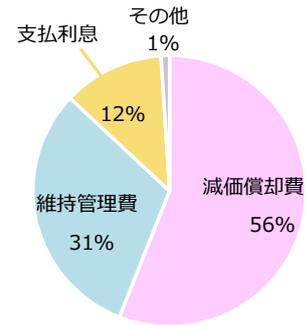
©R.S.H/RUNE

次に、支出の内容を見てみよう！

支出（損益計算書）

(税抜)

内容	金額 (円)	割合 (%)
げんかしょうきゃくひ 減価償却費	4,624,605,314	56%
いじかんりひ 維持管理費	2,581,971,333	31%
しほらりそく 支払利息	1,015,171,260	12%
その他	90,552,267	1%
合計	8,312,300,174	100%



支出の割合

「維持管理費」って具体的には何なの？



©R.S.H/RUNE



汚くなった水をきれいにする処理場（矢作川浄化センター）や、みんなの家から処理場へ汚水を送るポンプ場の電気代や薬品費、汚泥の処分費などの費用や、下水道の仕事をしている職員の給料とかが「維持管理費」に含まれているよ！！

「支払利息」って何の利息？



©R.S.H/RUNE



施設を作るときなどに借り入れたお金の利息になるんだけど、約11億円もあるんだよ。

もう一つの「げんかしょうきゃくひ」って、さっぱりわからないけど....



©R.S.H/RUNE



「減価償却費」は、「長期前受金戻入」とセットで考えると分かりやすいから、次のページでまとめて説明していくね！

げんかしょうきやくひ 「減価償却費」 ちようきまえうけきんれいにゅう 「長期前受金戻入」 を知ろう！



損益計算書には、1年間にかかった費用を載せるって決まりがあるんだ！

下水道管などの施設は長い間使えるよね。

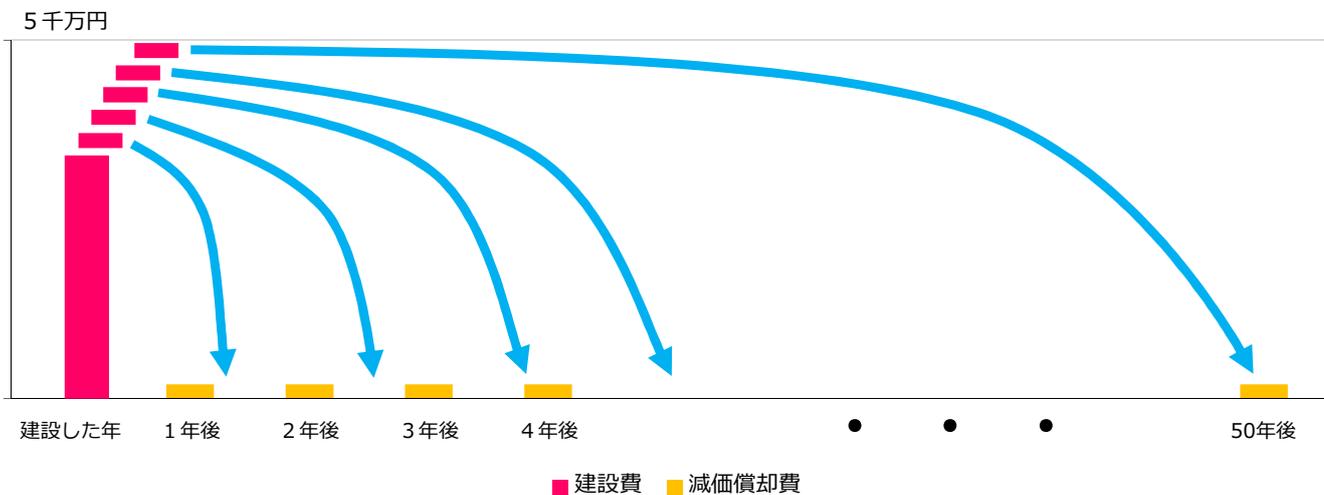
だから作った年に全額を費用にするんじゃなくて、その施設が使える年数で少しずつ費用にする必要があるんだ。

これを「減価償却費」っていうんだ！

作った年に現金の支払いはしているんだけど、全部が費用になるのはもっとずーっと先になるんだ。

減価償却費のイメージを見てみよう！

50年間使える下水道管を5千万円で建設した時の減価償却のイメージ



この表をみると、建設した年に5千万円は払っているんだけど、50年間かけて少しずつ費用として毎年損益計算書に載せているんだね。つまり、現金を支払ったものが全て損益計算書に載っているわけではないんだね。じゃあ「長期前受金戻入」ってどんなものなの？



©R.S.H/RUNE



「長期前受金戻入」っていうのは、この収益版だね。下水道事業は施設の建設の時に国から補助金をもらったり、一部を市民の方に負担していただいたりして建設しているんだけど、そのお金も施設が使える年数に合わせて収益にしていくなんだ！



この2つの会計制度はこの後も、非常に重要になるから覚えておいてね！
じゃあ、損益計算書から分かることを見ていこう！

損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！

収入－支出＝純利益（純損失）

574,847,608円



約5億7千万円のプラスだね。

「収入」から「支出」を引いたものがプラスだと「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼ぶんだよ！黒字、赤字って言うと分かりやすいかな？
損益計算書から分かるのは、下水道事業が黒字か赤字かってことなんだ！

5億7千万円も黒字なら下水道事業は安心ね！



©R.S.H/RUNE



その通り！！・・・と言いたいところなんだけど・・・。
実は、損益計算書に載っていない支出と収入があるんだ。。

さっき損益計算書の支出と収入をみたけどあれで全部じゃないんだね！
それってもしかして、さっきの減価償却費と関係があるの？？



©R.S.H/RUNE



そのとおり！！
下水道管建設のように、実際に現金の支出や収入をしているけど、損益計算書に載らない部分があるから、
そういった支出や収入についてもしっかりと把握する必要があるんだ！

そうだったんだね！
確かに金額もかなり大きそうだから、
ちゃんと把握しておく必要があるんだね！！



©R.S.H/RUNE

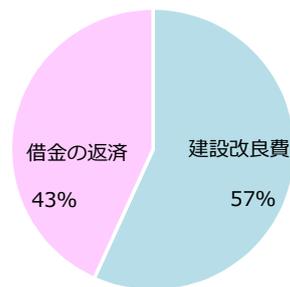


こういった今年に支出や収入をしているんだけど、
性質上、損益計算書に載らないものをそれぞれ、
「**資本的支出**」「**資本的収入**」というんだ。
次のページからはそれらの支出と収入を見ていこう！！

「^{しほんてきしゆつ}資本的支出」 (= 損益計算書には載っていない支出) を見てみよう!

内容	金額 (円)	割合 (%)
建設改良費 (※)	5,405,722,969	57%
借金の返済	4,111,737,626	43%
その他	1,040,000	0%
合計	9,518,500,595	100%

※前年度からの繰り越し工事に係る支出を引いておりますので決算書の数値と一致しません。



資本的支出の割合



建設改良費は、施設の建設費のことだよ。
施設の建設には約54億円もかかっているんだ!!
あとは、施設を建設する時に借りた借金を返すお金も
損益計算書には載っていないよ。

損益計算書に載っていない支出が約95億円もあるのね・・・。
まさか、損益計算書に載っていない支出の方が、
損益計算書に載っている支出より大きいなんて思わなかったよ。



©R.S.H/RUNE



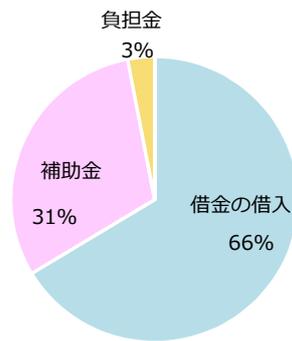
そうなんだよ!
下水道事業における支出の多くは施設の建設や更新に使われているから、
資本的支出が一般の企業に比べて大きいんだ。
だから損益計算書に載っていない支出もしっかり見なきゃいけないんだ!



さあ、じゃあ次は損益計算書に載っていない収入
「資本的収入」について見ていこう!
こっちも支出くらい大きな金額なら心配なさそうだね。

「^{しほんてき しゅうにゅう}資本的収入」 (= 損益計算書には載っていない収入) を見てみよう!

資本的収入 (損益計算書に載っていない収入)	(税抜)	
内容	金額 (円)	割合 (%)
借金の借入	3,960,600,000	66%
補助金 (※)	1,829,313,778	31%
負担金 (※)	179,774,916	3%
その他	947,000	0%
合計	5,970,635,694	100%



※消費税の計算上生じる雑支出や、来年度の繰り越し工事に係る収入を引いておりますので決算書の数値と一致しません。



借金の借入も借金の返済と同じく損益計算書には載らないよ! 次に大きい補助金や負担金が長期前受金といって建設の時に国や市民の方からいただくお金なんだ!



©R.S.H/RUNE

国からの補助金ということは、ここでも税金が投入されているの?



するどい!
その通り。補助金は税金だよ。地震や浸水のような災害への対策はとってもお金が必要だから、下水道使用料だけではなかなか進められないんだ。だから税金をもらっているよ!

負担金についても教えて!



©R.S.H/RUNE



負担金には、新しく下水道を整備した地区に土地を持っている人からもらっている「受益者負担金」などが含まれているよ!
じゃあ最後に、損益計算書で純利益 (純損失) を計算したように、「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう!

「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

収入－支出（施設の建設）

-3,547,864,901円

35億5千万円の赤字！？
いったいどうやって施設の建設をしているの・・・？



©R.S.H/RUNE

この赤字分も損益計算書の収入で補わなくちゃいけないんだ。

損益計算書の収入で補う・・・？
でも損益計算書の収入は「維持管理費」や「減価償却費」で
使ってしまったら5億7千万円しか余ってないじゃない！！



©R.S.H/RUNE

すごい！よく覚えているね！！
下水道使用料等の収入から維持管理費や減価償却費等の支出を引いた
残りが純利益だったね。
ここで問題なのが、「減価償却費」と「長期前受金戻入」なんだ。
この2つの費用と収益は、最初の1年目に現金の収入や支出を行っているから、
この年にはお金が使われていない費用や収益なんだ。
だから、損益計算書の純利益を考える時には、下水道使用料等の収入から
減価償却費を引いたけど、実際には、その分のお金が手元に残っているんだよ。
逆に「長期前受金戻入」は、むかし貰った「補助金」のうちの今年度分を
計上してるだけだから、お金の動きを考えるとときには引かなきゃいけないんだ！

「減価償却費」は、むかし支払った「建設費」のうちの今年度分を
計上してるだけだから、実際には現金の支払いは無いんだね！！
だからこのお金は、「資本的収入－資本的支出」の赤字を埋めるのに
使えるってことかな？



©R.S.H/RUNE



まとめ



ここまでの話をまとめよう！！

「資本的収入－資本的支出」の赤字額は約35億5千万円。

損益計算書上の純利益（黒字額）は約5億7千万円。

損益計算書で支出計上したけど使えるお金（減価償却費分）は約46億2千万円。

損益計算書で収入計上したけど使えないお金（長期前受金戻入分）は約14億5千万円。

全て足し引きすると下の計算式のようになるよ！！

資本的収入－資本的支出		-3,547,864,901	円
損益計算書上の純利益（黒字額）	+	574,847,608	円
減価償却費	+	4,624,605,314	円
長期前受金戻入分	-	1,450,345,065	円
		201,242,956	円

今年は約2億円のプラスってこと？



©R.S.H/RUNE

そうだね。今年は2億円ほど使えるお金が増えたんだ。

このお金は「^{ほてんざいげん}補填財源」と呼ばれているよ。

「補填財源」は今後の建設費や、赤字が出たときの補填に使えるお金になるんだよ！



安心した～！

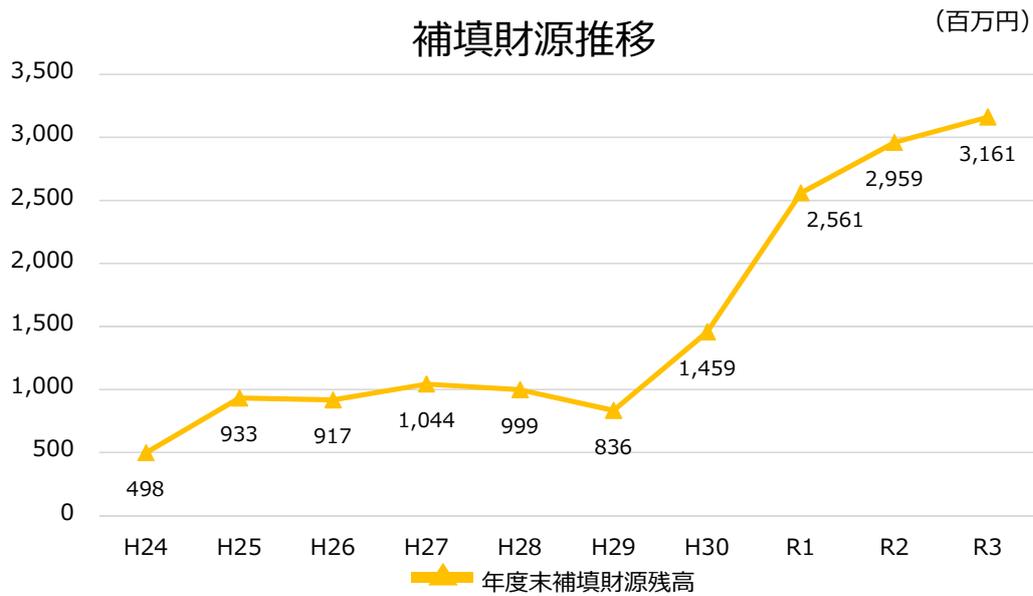
損益計算書で黒字が出ているから安心！っていうわけじゃなくて、資本的収入と資本的支出の結果も見ないといけないんだね！！

そういえば「補填財源」って今どれくらいあるのかな？



©R.S.H/RUNE

3 ほてんざいげん 補填財源の推移を見てみよう！



平成24年から企業会計制度を導入したから、それ以降しか分からないんだ。

今は30億円ぐらい「補填財源」があるんだね！
これが多いのか少ないのか、想像がつかないなあ～。



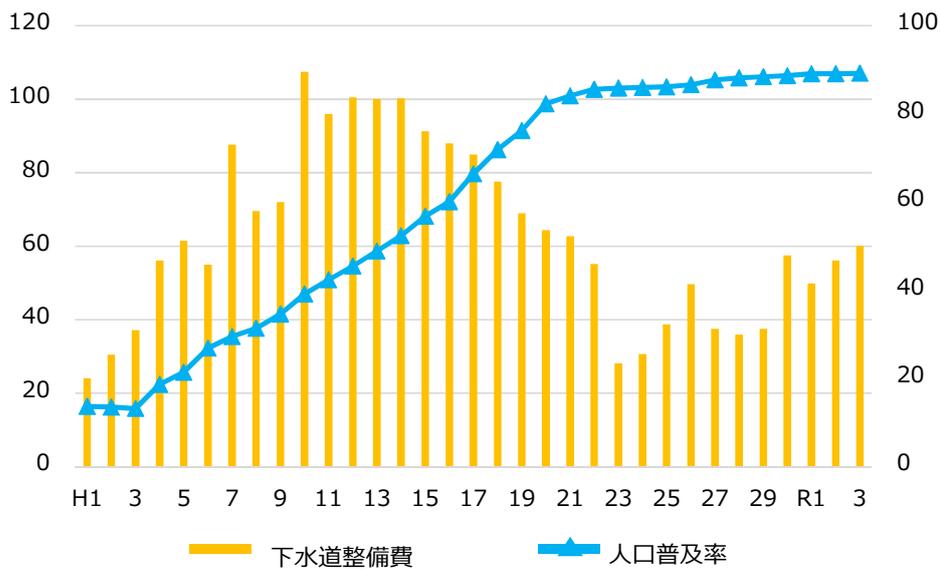
©R.S.H/RUNE



「補填財源」は今後の建設費や赤字が出た時の補填に使えるお金ってさっき言ったけど、まさに下水道事業はこれからたくさんの建設費が必要な状況なんだ！
下水道事業が置かれている状況を見てみよう！

4 下水道事業が置かれている状況を見てみよう！

下水道整備費と普及率の推移



岡崎市の下水道は、平成に入ってから急速に整備しているんだ。
そして今では、約**1,800**kmもの下水道管や16箇所のポンプ施設が
あって、市内の90%近くの人に使ってもらってるよ！
施設は作ったきりで古いものを放置していると下水道管が潰れて道路が
陥没する事故などにつながってしまうから改築や更新が必要なんだ。
急速に整備した施設が、今後一気に古くなっちゃうから
たくさんのお金が必要になるんだ。
それに将来の人口減少によって使う人が減ってしまうと、
それだけ下水道使用料の収入も減っちゃうんだ。

それは大変！下水道事業はどうなっちゃうの・・・？



©R.S.H/RUNE



だから、長期的な視点に立って将来を見据える必要があるんだ！
下水道事業はみんなの生活になくてはならない重要なものだから、ずっと
続けていくために、「上下水道新時代 暮らしを守る 次の100年へ」を
理念とする岡崎市上下水道ビジョンを令和2年度に策定したよ！
その理念の実現に向けて、長期的な視点に立った効率的な
改築更新計画策定している最中なんだ。
そして将来の補填財源残高がどうなるのかを見て、
手遅れになる前に手が打てるようにしていくよ！！

施設が古くなったのに、お金がないからって新しくできないと
困っちゃうんだね。
そのためにお金がたくさん必要になるのね。
ずっと下水道事業が続けられるようにみんなで考えていかなきゃね！



©R.S.H/RUNE

5 財務3表を読み解こう！①

【図解】損益計算書（決算書P.66～67）

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益、これに対応するすべての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

★損益計算書から分かること

損益計算書からは、どのような経営活動によって、どれだけの経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、また、将来の方針を立てることができます。

★注目ポイント

①営業損失

本業による損益が分かる！
下水道事業の本業は、汚水と雨水を排水することです。そのための費用や、みなさんからいただく下水道使用料や、雨水を排水するための費用に対する一般会計からの繰入金等の、主たる営業活動の結果を示しています。

②経常利益

経営活動から生じた損益が分かる！
本業に関する損益に加えて、一般会計からの繰入金による収入のうち営業外収益としたものや、借入金利息の支払い等の資金調達等に関する損益の結果を示しています。

③当年度純利益

最終的な損益が分かる！
1年間のすべての損益の結果を示しています。

次の式で損益を把握します

損益 = 収益 - 費用

プラス → 利益



令和3年度岡崎市下水道事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益				
(1)	下水道使用料	3,852,123,662			
(2)	他会計負担金	1,895,348,021			
(3)	その他営業収益	200		5,747,471,883 (ア)	
2	営業費用				
(1)	管渠費	540,221,600			
(2)	ポンプ場費	321,415,214			
(3)	水質管理費	44,951,838			
(4)	業務費	207,987,285			
(5)	総係費	208,144,807			
(6)	流域下水道管理運営費負担金	1,259,250,589			
(7)	減価償却費	4,584,839,774			
(8)	資産減耗費	39,765,540			
(9)	農業集落排水処理施設維持管理費	32,029,840		7,238,606,487 (イ)	
	営業損失			1,491,134,604	(ウ) = (ア) - (イ)
3	営業外収益				
(1)	受取利息及び配当金	22,706			
(2)	他会計負担金	1,485,666,725			
(3)	補助金	126,000			
(4)	長期前受金戻入	1,450,345,065			
(5)	引当金戻入益	3,453,007			
(6)	雑収益	7,172,246		2,946,785,749 (エ)	
4	営業外費用				
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	1,015,171,260			
(2)	雑支出	47,670,895		1,062,842,155 (オ)	1,883,943,594 (カ) = (エ) - (オ)
	経常利益			392,808,990	(キ) = (ウ) + (カ)
5	特別利益				
(1)	過年度損益修正益	1,557,689			
(2)	引当金戻入益	191,332,461		192,890,150 (ク)	
6	特別損失				
(1)	過年度損益修正損	1,502,282			
(2)	その他特別損失	9,349,250		10,851,532 (ケ)	182,038,618 (コ) = (ク) - (ケ)
	当年度純利益			574,847,608	(サ) = (キ) + (コ)
	前年度繰越利益剰余金			0	
	その他未処分利益剰余金変動額			0	
	当年度未処分利益剰余金			574,847,608	

5 財務3表を読み解こう！②

令和3年度岡崎市下水道事業貸借対照表
(令和4年3月31日まで)

【図解】貸借対照表(決算書P71~73)

貸借対照表は、年度末時点に企業が所有するすべての資産、負債及び資本を表示する報告書です。

★貸借対照表から分かること

表の左側【資産の部】からは、企業が事業を行うために所有している資産の残高を知ることができます。
表の右側【負債の部】及び【資本の部】からは、資産を取得するためにどのように資金を集めたかを知ることができます。

★注目ポイント

① 流動比率(%)

$$= \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 = 89.3\%$$

すぐに支払わなければならないお金(流動負債)を、すぐに支払えるか(現金等の流動資産がどれくらいあるか)を表します。
200%以上が理想的で、高いほど経営が安定していると言えます。
(参考：R1決算類似団体平均値=73.0%)

② 有形固定資産減価償却率(%) = 有形固定資産減価償却累計額

$$\div \text{有形固定資産のうち償却対象資産} \times 100 = 22.7\%$$

有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるか(その資産をどれくらいの期間使っているか)を表します。
指標が高いほど資産の老朽化度合いが高いと言えます。
(参考：R1決算類似団体平均値=31.0%)

【資産の部】		金額(円)	【負債の部】		金額(円)
固 定 資 産		147,209,153,159	固 定 負 債		60,170,418,840
有 形 固 定 資 産		141,251,318,081	企 業 債		60,077,158,764
土 地		2,558,790,518	リ ー ス 債 務		301,434
建 物		5,098,681,927	引 当 金		92,958,642
構 築 物		160,197,437,862	流 動 負 債		7,929,296,787
機 械 及 び 装 置		8,853,066,901	企 業 債		4,201,924,988
車 両 運 搬 具		2,070,203	リ ー ス 債 務		232,778
工 具 器 具 及 び 備 品		12,609,538	未 払 金		3,637,536,181
リ ー ス 資 産		1,046,900	引 当 金		23,581,000
減 価 償 却 累 計 額	△	39,565,367,649	そ の 他 流 動 負 債		66,021,840
建 設 仮 勘 定		4,092,981,881	繰 延 収 益		48,494,864,780
無 形 固 定 資 産		5,955,197,828	長 期 前 受 金		60,896,605,108
施 設 利 用 権		5,955,197,828	収 益 化 累 計 額	△	12,401,740,328
投 資 そ の 他 の 資 産		2,637,250	負 債 合 計		116,594,580,407
長 期 貸 付 金		597,250			
そ の 他 の 投 資		2,040,000			
流 動 資 産		7,086,911,363	【資本の部】		金額(円)
現 金 預 金		5,161,680,971	資 本 金		37,027,788,040
未 収 金		1,646,128,883	剰 余 金		673,696,075
貸 倒 引 当 金	△	2,595,491	資 本 剰 余 金		98,848,467
短 期 貸 付 金		897,000	利 益 剰 余 金		574,847,608
前 払 金		280,800,000	資 本 合 計		37,701,484,115
資 産 合 計		154,296,064,522	負 債 資 本 合 計		154,296,064,522

負債は、企業債(借金)等、他者に返さなければならないお金です。



繰延収益は、下水道管の建設等にもらった補助金等、返す必要のないお金です。



©R.S.H/RUNE



資本は、資本金や事業で獲得してきた利益などのお金です。

『お金の使い道』
集めたお金が、「どのような状態」で「どれだけ」あるかが分かります。

『お金の集め方』
企業が資産を獲得するためのお金を、「どうやって」集めたかが分かります。

5 財務3表を読み解こう! ③

【図解】キャッシュ・フロー計算書(決算書P92、93)

キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

★キャッシュ・フロー計算書から分かること

損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

★注目ポイント

①現金を増やすことはできたか?

まずは現金が増えているか、減っているかを確認します。その後、各キャッシュ・フローを見ると、なぜそうなったのか?を知ることができます。

②「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスか?

下水道事業を続けるためには、本来の営業活動で得たお金(下水道使用料)で、汚水をきれいにするための負担金や汚水を流すための下水道管の維持管理・更新をしていかなければなりません。そのためには、「業務活動によるキャッシュ・フロー」は必ずプラスにならなければなりません。

③「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどれくらいマイナスか?

現在、多くの下水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用を必要としています。施設の更新をすれば「投資活動によるキャッシュ・フロー」は必ずマイナスとなりますが、その規模はどれくらいか?が重要です。

④「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスかマイナスか?

下水道事業では、下水道使用料で稼いだ資金に加えて、お金を借りることで下水道施設の更新を行っています。「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済による資金の増減を表しており、借りた金額よりも返す金額が多ければマイナスに、借りた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。

令和3年度岡崎市下水道事業キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

	(単位 円)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	574,847,608
減価償却費	4,584,839,774
固定資産修正に伴う増減額	9,349,250
固定資産除却費	39,765,540
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,555,554
修繕引当金の増減額(△は減少)	△ 191,332,461
賞与等引当金の増減額(△は減少)	△ 877,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 377,516
長期前受金戻入額	△ 1,450,345,065
受取利息及び受取配当金	△ 22,706
支払利息	1,015,171,260
未収金の増減額(△は増加)	△ 374,975,134
未払金の増減額(△は減少)	61,539,745
前払金の増減額(△は増加)	△ 14,252,840
その他流動負債の増減額	20,017,661
小計	4,284,903,670
利息及び配当金の受取額	22,706
利息の支払額	△ 1,015,171,846
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,269,754,530
2 有形固定資産の取得による支出	△ 5,058,573,192
無形固定資産の取得による支出	△ 108,260,820
長期貸付金の貸付による支出	△ 1,040,000
短期貸付金の償還による収入	1,012,000
工事負担金による収入	24,134,031
他会計負担金による収入	87,468,078
受益者負担金による収入	82,010,238
国庫補助金による収入	1,824,943,744
県補助金による収入	△ 436,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,148,742,887
3 建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	3,960,600,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 4,111,737,626
リース債務の返済による支出	△ 225,022
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 151,362,648
資金増加額(又は減少額)	△ 30,351,005
資金期首残高	5,192,031,976
資金期末残高	5,161,680,971

今年はプラスだね! 今後、老朽化による投資活動の増加に備えておかなきゃね!



たくさん施設更新しているね!



©R.S.H/RUNE

借入より返済の方が多いね!





©R.S.H/RUNE

岡崎市下水道事業 100周年

【令和5年】